

平成 23 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	4	子どもや高齢者を地域ぐるみで見守る	評価責任者 (基本施策主管課長)	介護高齢福祉課長 清水 健司
-------	---	-------------------	---------------------	-------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	安心・安全
	政 策	必要ときに支えがある安心なまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>満足度、必要度とも僅かであるが平均を上回っている。しかしながら、他人への関心や地域における連帯意識が希薄になっており、地域ぐるみで声をかける取り組みができていない。</p>
③	基本施策の現状と課題	住み慣れた地域で安心して生活するには、悪徳商法や虐待などの権利侵害から守られ、問題解決できる成年後見制度や権利擁護事業の促進が必要である。
④	基本施策の意図、今後の展望	全ての市民が安心して気軽に相談でき、制度を利用することで権利侵害から守れるよう、一層の制度周知と利用を促す。

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
				H22 決算額	H23 予算額	H24 所要額	
1	健康福祉部 介護高齢福祉課	244-01 伊賀地域福祉後見サポートセンター運営事業	無	5,220	5,220	5,220	1
2	健康福祉部 介護高齢福祉課	244-02 地域福祉権利擁護事業補助金	無	1,279	1,172	1,463	1
3	健康福祉部 介護高齢福祉課	247 生活・介護支援サポーター養成事業	無	3,121	4,320	4,320	2
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
(以下 続紙)							
事業費 合計				9,620	10,712	11,003	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等
成年後見人制度利用支援事業	伊賀市	成年後見市長申立てに係る経費及び後見人報酬の助成

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	権利を侵害されやすい高齢者等を守るために必要な事項である。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	判断能力が不十分な状態になっても、安心して生活ができる。また、市長申立てについては、本人の費用負担能力に応じて徴収している。
3 役割分担の妥当性	申立てをする親族がいない場合の高齢者を支援し、公的保障として市が実施すべきである。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	現在実施している地域福祉権利擁護事業補助金も、能力に応じた負担の検討が必要である。

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		優先順位
後見制度		福祉後見人養成研修修了者		2
権利擁護		後見人登録者		1

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度 目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H21	H22	H23	H25	H27		
2 福祉後見人研修修了者	目標	人	160	180	222	252	300	
	実績	人	173	196				
	達成率	%	108.1	108.9				
1 後見人登録者	目標	人	5	4	4	5	6	
	実績	人	3	3				
	達成率	%	60.0	75.0				
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				